

「チェコ人はみな音楽家である」「音楽こそがチェコ人の人生／命」 チェコにはこんな言い回しがあります。

家族で、仲間で、街角で、人々が集まる時そこには音楽があふれます。

チェコは、私たちにも馴染み深いスメタナやドヴォジャークといった、世界的に有名な作曲家を数多く輩出した国でもあります。

今回は、その歴史上幾度となく祖国の危機を乗り越えてきたチェコ人の心を支えた音楽や、日本では未だあまり知られていない作曲家たちの素晴らしい曲もご紹介し、チェコの楽曲を極めた音楽家によるピアノ演奏と歌を堪能して頂きたいと思います。



PROFILE



沢 由紀子 *Yukiko Sawva* (ピアノ)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。旧チェコスロヴァキア政府給費留学生として国立ブラハ芸術アカデミーに留学。故J・パーレニー・チェク氏に師事。1994年より日本とチェコ両国の友好コンサートをテーマとして活動している。チェコ国内ではブラハをはじめ、ボヘミア、モラヴィア、シレジア地方、スロ

バキア国内でも演奏。2018年に、ブラハに本部を置く国際マルチヌー協会の日本支部プレジデントに任命される。リブシェ音楽企画(ホームページ:www.libusemusic.com)でもチェコの作品の演奏会を日本で数多く企画している。ヤナー・チェクのピアノ作品集のCDをブラハにて録音。聖徳大学講師。



関野 杏美 *Azumi Sekino* (ピアノ)

神奈川県出身。洗足学園音楽大学 ピアノコース卒業。在学時、特別選抜演奏者に認定される。卒業後、チェコ国立ブラハ音楽院へ留学。第6回全日本芸術コンクール 関東本選 ピアノ部門 最上位。第10回チェコ音楽コンクール2012ピアノ部門 第2位。第24回PIARA ピアノコンクール ファイナル シニア C部門シル

バーメダル。他、受賞多数。International Summer Piano Courses of Prague Conservatoire 2016にて、Diplomaを取得。ピアノを道曲 郁子、門倉 美香、松崎 伶子、M.Langer の各氏に、また、室内楽を D.Vlachová 氏に師事。これまでに、大倉山記念館ホール、Hakuju Hall、浜離宮朝日ホール等様々な会場にて、チェコのピアノ作品を中心とした演奏活動を行う。元 小田原短期大学ピアノ特別講師。



出井 則太郎 *Noritaro Dei*

(テノール・カウンターテノール)

東京芸術大学卒業後、ドイツ・オーストリアに学び、チェコ国費留学生として、チェコ国立バラツキー大学にて、声楽、音楽学を学ぶ。カウンターテノールとして、教会でのミサ、コンサートで歌う他、モラヴィア民謡、チェコ歌謡曲を歌う日本人としてラジオ番組に出演。

チェコ音楽の普及を目的とした活動が日本経済新聞に取り上げられる。2020年、コロナ禍の中で作詞家デビューし、「空が蒼い」、「眺めてる海」をTuneCoreで発売。また2021年2月に発売されたCD東京Rippysのヴォーカルとして「ごめんね、母さん」デビュー。ベトロピアノ公認アーティスト。在日チェコ商工会議所文化担当、イベントリーダー

サンミュージックプロダクションボイストレーナー



出井 愛 *Mana Dei* (ピアノ)

東京音楽大学ピアノ科卒業後、チェコ国立ブラハ音楽院に留学し、ミハル・レゼック氏に師事。スメタナの生家リトミシュルで行われた音楽祭やチェコ国内のコンサートに多数出演。近年では、チェコフィルのソリストらとデュオリサイタルを開催。

在日チェコ大使館でのイベントや建国記念日の演奏を行う。ソロ活動の他、映画挿入曲や、伴奏ピアニストとしても活躍。

2017年 1stピアノソロCD「子守唄」をリリース。

NPO法人チェコ倶楽部について



チェコ倶楽部は設立20年を経て、2023年3月にNPO法人として新たな一歩を踏み出しました。これからも日本とチェコを繋ぐ活動を続けてまいりますので、皆さまのご参加を心からお待ちしております。



@CESKYKLUB_NPO